



能登半島の災害復旧に民間の技術力を活用したECI方式を活用します ～逢坂工区:トンネル、中屋工区:トンネル・橋梁2件を発注～

令和6年能登半島地震によって、国道249号は石川県珠洲市若山町宇都山^{わかやままちうつやま}～輪島市門前町浦上^{もんぜんまちうらかみ}の間(延長約 52.9 km)については地割れや段差、道路の大規模な崩落、トンネルや橋梁など構造物の損傷等が複数箇所で見られていることから、道路法第13条第3項に基づく権限代行制度により復旧を進めています。

【逢坂トンネル工区】

地震で地すべりが発生し、さらに大雨で斜面崩壊や土石流が発生したことにより、周辺道路および輪島側トンネル坑口や仁江地区の集落が広範囲に被災しました。地すべりを回避するトンネルを新設します。

【中屋トンネル工区】

地震で中屋トンネルが被災し、トンネル明かり部で地すべりが発生し、道路が広範囲に閉塞。さらに大雨ではトンネル輪島側の明かり部で地すべりが増破し、新たに土石流、斜面崩壊が発生しました。地すべりを回避するトンネルの新設および橋梁2橋を新設します。

- ① 新逢坂トンネルにかかる技術協力業務(技術協力・施工タイプ)
 - ② 中屋第2トンネルにかかる技術協力業務(技術協力・施工タイプ)
 - ③ 中屋1号橋にかかる技術協力業務(技術協力・施工タイプ)
 - ④ 中屋2号橋にかかる技術協力業務(技術協力・施工タイプ)
- (③④は一括審査による発注を予定)

設計段階から施工者の意見を反映させることで、確実な施工計画、仮設計画の設計が可能となることから、技術提案内容を反映させる、「ECI(技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ))」を活用し、復旧工事を加速化します。(3月中の公告を予定)

また、①と②のトンネル工事については、官民のパートナーシップにより事業監理等を行う「PPP」を活用し、近隣の事業の調整・協議等を進めます。

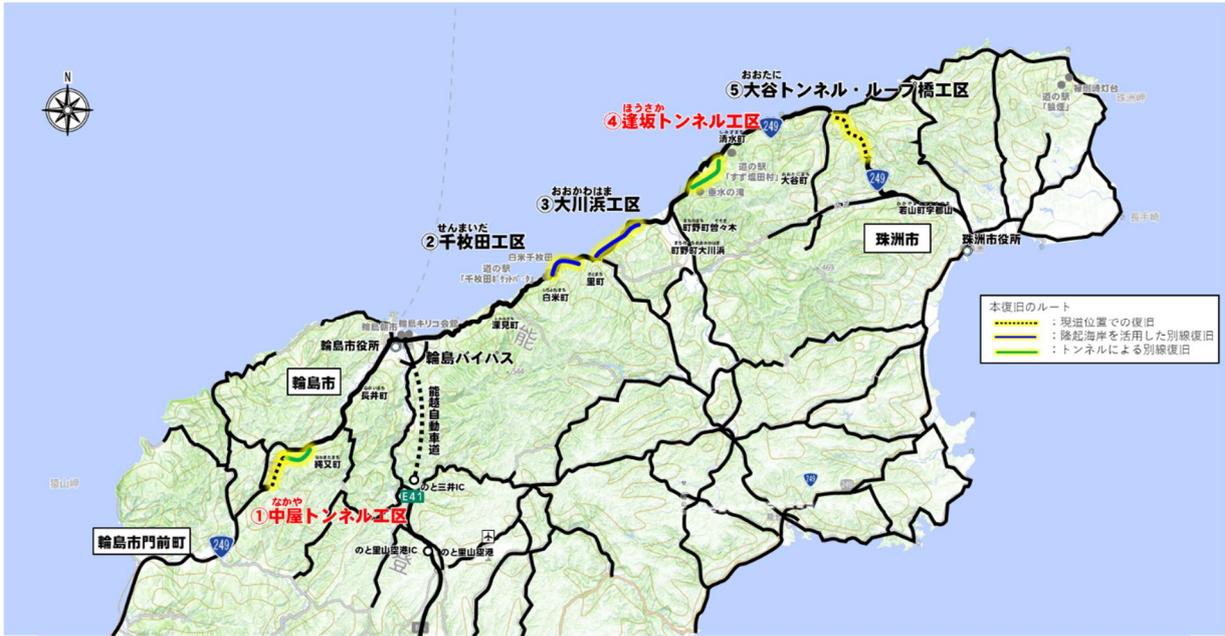
- ・ECI(技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ))：技術提案に基づき選定された優先交渉権者と技術協力業務の契約を締結し、別の契約に基づき実施している設計に技術提案内容を反映させながら価格等の交渉を行い、交渉が成立した場合に施工の契約を締結
- ・PPP:事業促進を図るため、直轄職員が柱となり、官民がパートナーシップを組み、官民双方の技術者が有する多様な知識・豊富な経験を融合させながら事業監理、施工管理等を行う方式

取 扱：本紙投げ込みを以て 解禁

【同時FAX先】 建設速報社、新潟建設工業新聞社、日刊建設通信新聞社 新潟支局、日本工業経済新聞社 新潟支局、日刊建設工業新聞社 北陸総局、建設ジャーナル社、産業新聞社 北信越支局、鉄鋼新聞社 新潟支局、北陸工業新聞社 新潟支局

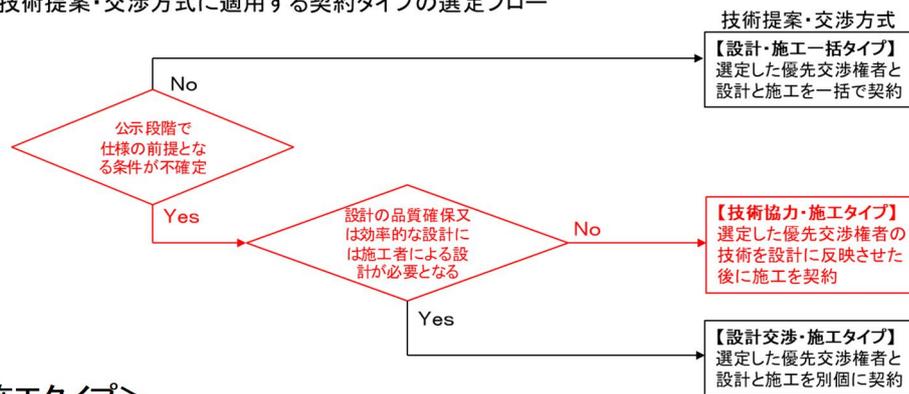
【問合せ先】 国土交通省北陸地方整備局
〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1
Tel (代表) 025-280-8880
企 画 部 技術開発調整官 堀内 崇志 (内線3120)
総括技術検査官 佐々木利幸 (内線3117)

【位置図】

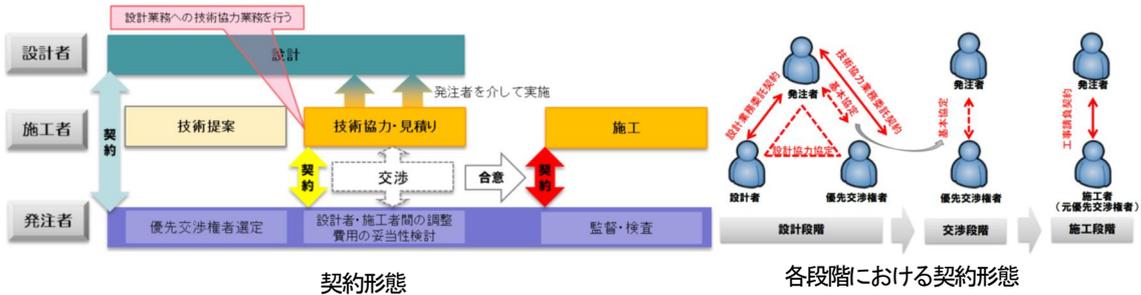


【参考】

技術提案・交渉方式に適用する契約タイプの選定フロー



<技術協力・施工タイプ>



<PPP>

